

冬の夜空に大輪の花

「明治維新150周年記念事業 枕崎きばらん海年越し花火大会」が、12月31日の大晦日に枕崎漁港で開催されました。

今回の花火大会では、約8千発の花火を4部構成で打ち上げ、フィナーレには九州で唯一となる三尺玉の大花火が、大輪の花を咲かせました。約2万人が冬の夜空を彩る花火を堪能しました。

大晦日に開催いたしました「明治維新150周年記念事業 枕崎きばらん海年越し花火大会」には、多大なご支援とご協力をいただき感謝申し上げます。

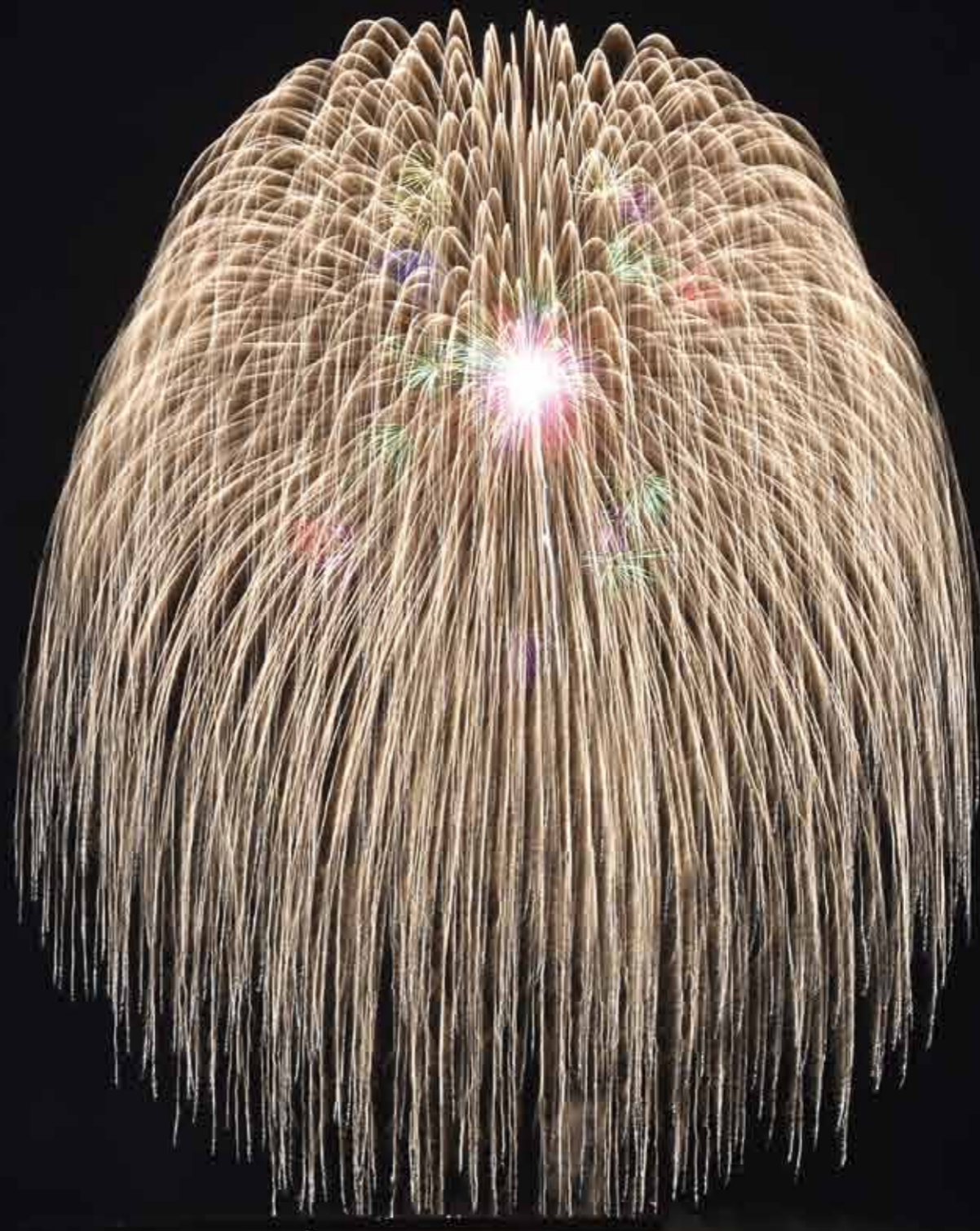
「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」は台風の影響でやむなく中止となりましたが、その後、市民の皆様からの「花火大会だけでも開催してほしい」との多くのお声をいただき、実行委員会でも関係各部署との調整を行い、昨年1年間の感謝と今年の福を願って大晦日に年越し花火大会として開催するに至りました。

花火大会当日は、火の神乙女太鼓爽やLCLの子どもたちに会場を盛り上げていただき、天気も心配されましたが夕方より晴天に恵まれ、澄み切った冬の夜空にいつもに増して色鮮やかな花火を見せてくれました。

また、市民の皆様をはじめ、たくさんの方々からの心温まるご寄附をいただき、10回目を迎え、市民の願いを込めた三尺玉花火も迫力ある大輪の花を咲かせてくれました。昨年1年間の大締めとして、そして、輝かしい新年のスタートとして幸先の良い花火大会となったと思います。

今後も「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」を枕崎市民の誇りとなる100年続くまつりとして盛り上げていきますので、ご協力よろしくお願い致します。

まつり実行委員会



かごしま 明治維新150周年記念事業

枕崎きばらん海

年越し花火大会